

事後評価書

事業名	都市公園事業 5・5・6号大仏山公園		事業区分	公園整備	室名	都市政策室													
事業概要	工期	昭和55年度～ 平成16年度	全体事業費	用地費 2,556百万円(負担率:国1/3:県17/30:他1/10) 工事費 3,916百万円(負担率:国1/2:県4/10:他1/10) 全体事業費 6,472百万円															
	(下段当初)	昭和55年度～ 平成16年度	(下段当初)	6,472百万円															
事業目的及び内容	(1) 中南勢地域の核となる広域的なレクリエーションの場の提供 (2) 水と緑に囲まれたスポーツレクリエーションゾーンの形成 (3) 自然と古墳群を活かした公園整備																		
1. 事業の効果	(1) 費用対効果分析結果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">便益(B) (百万円)</th> <th rowspan="2">費用(C) (百万円)</th> <th rowspan="2">B/C</th> </tr> <tr> <th>旅行費用便益</th> <th>滞在費用便益</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">15,345</td> <td style="text-align: center;">32,626</td> <td style="text-align: center;">47,971</td> <td style="text-align: center;">18,130</td> <td style="text-align: center;">2.65</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 観光振興等地域活性化に関する効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回開催されるフェスティバルの開催が定着しており、月別来園者数は開催月が最も多い。 ・オリエンテーリングコースが設置されており、各種団体に利用され、平成20年には大会が開催された。 ・地元環境団体による自然体験・自然調査などの活動、地元学校による遠足や学習の場、各種団体による大会会場などにも利用されている。 <p>(3) 長寿・福祉社会への対応に関する効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内の主要施設、主要園路については、高齢者や車いす等に対応するため段差解消、スロープ化しており、50歳以上の利用が半数近くを占めている。 						便益(B) (百万円)			費用(C) (百万円)	B/C	旅行費用便益	滞在費用便益	計	15,345	32,626	47,971	18,130	2.65
便益(B) (百万円)			費用(C) (百万円)	B/C															
旅行費用便益	滞在費用便益	計																	
15,345	32,626	47,971	18,130	2.65															
2. 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	古墳・埋蔵文化財等の保全 ・大学等による調査、研究が行われ、古墳群遺跡から出土した遺物は保管され、文化財の保全が図られている。																		
3. 事業を巡る社会経済情勢等の変化	(1) 上位計画との整合 ・伊勢都市計画区域MPIにおいては、住民及び来訪者のふれあいの場として整備するとされており、当公園整備の方向性と一致している。 (2) 周辺施設の状況 ・隣接する大仏山公園スポーツセンターが平成7年に開園し、運動レクリエーションの拠点が形成された。 (3) 社会状況、住民ニーズへの対応 ・環境への視点も重要となる中で、従来の里山を活かした整備とするなど、社会経済情勢や住民ニーズへの対応を行っている。																		
4. 利用者の意見	(1) 来訪者属性 ・アンケート調査の回答者507人の居住地は、伊勢市が5割、明和町が2割、玉城町及び松阪市がそれぞれ1割弱を占め、来訪頻度が月に2回以上の来訪者が5割以上となっており、地域に身近な公園となっている。 (2) 利用者の満足度 ・自然、くつろぎ、安全の評価が高く、回答者の約96%が再来園の意向を示している。 ・施設別では、大型遊具や中央広場、子供広場、芝生広場における満足度が最も高くなっている。 ・遊具や公園までの案内については、1割の方が不満に感じている。 (3) 公園についての意見・要望 ・遊具・休憩施設や木陰の追加改善、・ゴミ箱の設置、・植栽管理改善(剪定・除草)、・利用者マナー改善 など																		
5. 今後の課題等	(1) 事後評価のまとめ ・費用対効果分析のほか、観光振興、長寿・福祉社会、自然共生など、事業効果が発揮されている。 (2) 今後の事業評価の必要性 ・大規模な施設改修及び新たな施設導入などの際には、利用状況に見合った事業投資となっているかどうか検証する必要がある。 (3) 改善措置の必要性 ・遊具、休憩施設の追加やゴミ箱設置などハード整備の他、植栽管理や利用者のマナー向上が求められている。																		